

きものを汚さず作業ができる優れたデザイン

「美しいキモノ」オリジナル

「水屋袴」ができました！

茶の湯の稽古では、優美なきもの姿での点前の裏側で下準備の作業がたいへん多いため、簡単に脱ぎ着のできる作業衣が待ち望まれていました。

「美しいキモノ」では着付け用具専門メーカーの「あづま姿」と共同でオリジナルの「水屋袴」を開発しましたので、その便利さをここでご紹介いたします。



着用後ろ姿

後ろ側を深くカットし、まち上にゴムを入れたため脱ぎ着が楽で後ろ姿もスマート 帯◆渡文

着用前姿

帯をカバーできる長さで、前紐一本で結ぶスタイル。股下が短くきものの裾をはしらず着脱



脱ぎ着が楽

後ろ身頃が深くくられて後ろ紐がないため、普通にきものを着たまま、かがむことなくはけます

- ### 「水屋袴」の特徴
- 1 股下が短いため、きものをはしらずに着用できて、きもの裾のシワを防ぎます
 - 2 後ろ側を丸くえぐってあるため屈まず楽に脱ぎ着ができます
 - 3 前紐だけで後ろ紐がないため着やすく、紐が絡まることなく楽にたためます
 - 4 紐に付いているクリップで袖を留めておけるので、袖口やたもとを汚れを防ぎます
 - 5 水仕事するときにはいてると、濡れてもきもの汚れを防ぎます
 - 6 掃き掃除、拭き掃除のときに前掛けのようにずれることがありません
 - 7 ポケットはしゃがんでの作業時にも出し入れしやすい位置を考慮しました
 - 8 炭や灰を使う準備のときにも、きものへの汚れを防止します
- 実用新案登録番号・第三五〇八六四号



「水屋袴」は、写真のパッケージが店頭での目印。●地色は写真の深緑一色●サイズは1サイズ(身長160cm前後の方に対応)ですが、紐を結ぶ位置の調節で、前後10cm程度の身長幅はカバーできます◆8,190円

こんな作業に役立ちます



ポケット位置を工夫

座ったり立ち膝での作業時に、タオルなどを出し入れしやすいよう工夫されています



拭き掃除に

前掛けのように向きを変えるたびにずれることなく、きもの前裾の汚れを防ぎます



掃き掃除に

袖口がクリップで引かれるため、ほうきを持つ手にたもとが掛からず、裾も邪魔になりません



花を扱うときも

花を生けるときにも袖口が気にならず、きものに花の水気などが着くのを防いでくれます



外の水撒きにも

水を扱うときにも、きものへの跳ねを防ぎます。もし跳ねが掛かっても拭き取れば大丈夫



炭や灰を扱うときにも

炭斗(すみとり)に炭を調えたり、灰を扱うときに膝前の汚れを防ぎ、作業もしやすいです



袖口を引くクリップ付き

腰の部分に付いているクリップを袖口に留めると、水屋で道具の出し入れや水仕事するときにも袖口が邪魔にならず、きもの汚れを気にすることなく作業ができます

茶の湯の稽古をしている方は、優雅な点前の裏側で、目に見えない繊細な仕事がたくさんあります。水や炭や灰を扱う作業など、きもの汚れが気になる場面が数多くあるため、汚れを防ぐ機能的な作業衣が待ち望まれていました。編集部では、着つけ用具専門メーカーの「あづま姿」と共同研究し、新商品「水屋袴」を作りました。家庭で洗濯可能なポリエステル生地を用い、股下が短く、後ろ身頃が大きくえぐれたデザインで脱ぎ着がしやすいのが大きな特徴。雨や雪の日に雨ゴートの下に履くのもお薦めですから、皆さまに愛用されることを願っています。

使ってみました! 噂の「美しいキモノ」オリジナル「水屋袴」

ちまたで噂のアイテムを愛読者の方々が試用する連載です。今回は、きものを汚さず作業ができるオリジナルの「水屋袴」をお試しいただきました。

きもの愛好家のために製作した 特製「水屋袴」

和装メーカー「あづま姿」と小誌が共同で開発したオリジナルの「水屋袴」。茶の湯の稽古など、優美なきもの姿で下準備を行うシーンで、きものを汚さず作業ができる優れたものです。股下が短く、後ろ身頃が大きくえぐれているので、楽に脱ぎ着ができるうえ、前掛けのようにずれることがありません。洗濯可能な素材で、袖を留めるクリップや大きなポケットが付くなど、機能面も充実。茶の湯のほか、お花の準備など応用範囲も広がります。地色は写真の深緑一色、サイズは身長160cm前後（紐を結ぶ位置で前後10cmくらい調整可能）の方に対応可能な1サイズ。あづま姿「水屋袴」8,190円 〇6-6382-2716



鈴木慶子さん

すずき けいこ◎60代。神楽坂の料亭「おく瀬」女将。お店に立つときは、動きやすく丈夫な大島などの紬を着用することが多いそう。



高山典子さん

たかやま のりこ◎60代。インテリアデコレーター。武者小路千家教授。お茶の稽古の際には、江戸小紋や紬類（大島や塩沢）などを愛用。



鳥居茜月さん

としい せんげつ◎40代。「洗心流 茜月派」代表。華道の展覧会などできものを披露。季節によって幅広い装いを楽しんでいます。

料理屋の女将という仕事柄、きもの姿で作業する時間は一般の方より長いですね。お店を開ける前のちょっとした支度や、閉店後に片付けをするときに、この「水屋袴」を試してみました。まずはとても歩きやすいと思ったのが第一印象。生地がしっかりしているのにとっても軽く、着心地がいいですね。身頃がたっぷりしているので、きもの上から着ても窮屈な感じがせず、しゃがむ、かがむなどの作業がしやすかったです。また、袖口をクリップで留められるのも優秀。水仕事や掃除をするときに袖や袂が汚れずに便利だと感じました。ただ、脱ぎ着がしやすく、動きやすい反面、後ろ姿がいまひとつですね。前側のキリリとした印象に比べて、腰から膝下までぐるっと開いてしまっている後姿が少しアンバランスだと思いました。また、生地がたっぷりしていて、きもの全体が覆えるサイズなのはよいのですが、小柄な私にはちょっとサイズが大きかったようです。小柄な人、大柄な人に対応できるよう、サイズ展開がいくつかあるといいなと思いました。お店の営業の前後に、サッと身に着けて支度ができる作業着はずっと待ち望んでいたもの。さらに優美な着姿の新型を製作していただくなど、これからの改善を期待しています!

お茶のお稽古の際に、生徒さんと一緒に「水屋袴」を試してみました。いつもはエプロンタイプで裾の長いものや、割烹着など、いろいろな作業着で裏方の仕事をしているので、新しい作業袴にみなさん興味津々。背の小さい方や大きい方など、さまざまな体型の方に着ていただき、意見を聞いてみました。まずみなさんの共通した意見は、残念ながら、後ろ姿がいまひとつということ。着やすさや座りやすさを考えた結果なのでしょうが、お尻が丸見えなのは気になりますね。また、水に濡れたり、炭や灰からきものを守るために特殊な加工がされているようですが、やや厚く重く感じました。手を大きく伸ばす動作や水仕事が多いので、袖口を留めるクリップはとても優秀。タオルや小物が入るポケットも使いやすく、好評でした。一方で、クリップに付いているゴムの長さが調整できれば、ポケットをもっと大きくしたり、大小ふたつ付けてほしいとの声も上がりました。とても機能的なのに、このお値段は素晴らしいですね。作業着は消耗品なので買いやすい価格帯なのは喜ばれる要因でもあります。厳しい意見もありましたがそれも期待の表れ。これからも「水屋袴」を愛用したいと思っています。

お花の裏方は水仕事のうえ、重い荷物を扱う作業も多く、とても重労働です。優雅な表舞台とは対照的に、いつも勇ましい格好で作業しているんですよ。この「水屋袴」は股下が短いので、きもの裾をはしよらずに脱ぎ着ができるのが便利です。ただやはり、長時間着ていると、きもの裾がシワになりやすいのが気になるころ。股下がきもの裾から30cmくらいなのですが、やはり脱いだときにシワになっていると、せつかくのきもの姿が残念な印象に。足を通さずに、前掛けタイプで便利なものもあるとさらにうれしいですね。また、生地がたっぷり使われているのですが、私には少々大きいと感じました。特に裾の部分に余裕がたっぷりあるようです。また、前からの姿は素敵なのですが、後ろ姿が……。きもの姿は本来、美しいもの。作業中でも、優雅な雰囲気を残して立ち居振る舞ができるといいな、と思います。とはいえ、生地は水を弾いてくれますし、大きなポケットは便利。畳んで持ち歩いてもまったくシワが気になりません。紐一本なので脱ぎ着が楽で、畳み方も簡単。アイデアはとても素晴らしいです。普段の作業ではきものを着ないことも多いので、洋服のうえから着ても大変便利でした。